

小田急ロマンスカー

安心と快適の旅新聞

就役60周年 特別号

発行者
小田急 3年 和光輝
佐藤 光輝
発行日
2017.8.14

◆◆◆ 連接台車 ◆◆◆

連接台車は、SE、NSE、LSE、HISE、RSE、EXE、VSE、MSEの各車両の間に台車があることで、カーブを曲がりやすく、乗り心地もとても良いです。



◆◆◆ がんばっているよ ◆◆◆

メンテナンス
ロマンスカーは何十年もはたります。特別な部品を使っているためメンテナンスが大変です。連接台車はかんたんに車両を切りはなさないのひと苦勞です。

◆◆◆ 2階の運転席 ◆◆◆

遠くまで見えて、きげんを早く発見できます。下の展望席をのぞくだけ広くなるため2階の運転席は、とても天井が低く、せまいです。



◆◆◆ 運転士さんと車しょうさん ◆◆◆

ロマンスカーを運転するには、電車を3年以上無事故で運転しないといけません。VEはさらに試験があつて、お客様への対応も大切なポイントです。だから、VSEの運転士と車しょうさんは、特別白い制服でカッコイイです。

◆◆◆ サービス ◆◆◆

外国のお客様がふえているので、車しょうさんや駅員さんたちは外国語を勉強しています。外国の人にも安心して旅行が楽しめますね。

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

鈴木さん、中尾さん、ありがとうございました。これからロマンスカーにたくさん乗りたいたいと思います。



小田急ロマンスカーは、今年で就役60周年をむかえました。ロマンスカーは僕たちを都会の新宿から大自然の箱根まで、あつという間に連れて行ってくれます。今回は快適で安全な旅のために工夫していること、がんばっていることを取材してきたので紹介します。

快適な旅

景色を占める展望席

ロマンスカーといえば先頭の展望席が一番人気です。運転席が2階にあるので先頭が客席になっています。周りの景色がよく見えます。まるで景色を一人占めしているような気分になります。これは最高です。

安心して乗れる全車指定席

ロマンスカーは全ての座席が指定席になっているので、立って乗る人はいません。また、車イスの人用の座席も一編成に2ヶ所以上あり、乗る人みんなが快適に過ごせます。

車面の工夫

SE (Super Express) 60年前に走り始めた最初のロマンスカーは、高速でも安定するように先頭の形を工夫し、軽くて強い車体になりました。

高速列車の目新が、いっつが使われていて新幹線のルールにもなっています。



VSE

まっ白な車体はまなかの中でも、自然の中です。車内の天井がアーチがたで高くなつていて、広々とくわかな感じが味わえます。

MSE

地下鉄に乗り入れるロマンスカーです。暗い地下鉄でも自然の中でもキレイに見える青色になっています。さらに、EXEと同じように切りはなして、つがでけるすいロマンスカーです。

新7000形

来年(2018)とうじょうよていの新しいロマンスカーです。かっこいいのはもちろん、多目的スペースがあり、AEDがついていて、より安心・快適に乗れます。

愛称	形式	治やく期間
SE	3000	1957~1992
MSE	3100	1963~2000
LSE	7000	1980~
HISE	10000	1987~2012
RSE	20000	1991~2012
EXE	30000	1996~
VSE	50000	2005~
MSE	60000	2008~
EXE	30000	2017~
新型	70000	2018~

